

平成27年度行政事業レビューシート ( 厚生労働省 )

<b>事業名</b>	予防接種従事者研修事業費			<b>担当部局庁</b>	健康局	<b>作成責任者</b>		
<b>事業開始年度</b>	平成6年度	事業終了 (予定)年度	終了予定なし	<b>担当課室</b>	結核感染症課	結核感染症課長 井上 肇		
<b>会計区分</b>	一般会計			<b>政策・施策名</b>	I-5-1 感染症の発生・まん延の防止を図ること			
<b>根拠法令 (具体的な 条項も記載)</b>	予防接種法第23条第3項			<b>関係する計画、 通知等</b>	予防接種従事者研修事業実施要綱			
<b>主要政策・施策</b>				<b>主要経費</b>	その他の事項経費			
<b>事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)</b>	予防接種業務に関わる者を対象として、予防接種を実施するに当たっての医学的・制度的な基礎知識及び最新知識の伝達等に関する研修を行い、予防接種にかかる事故等を未然に防止し、有効かつ安全な予防接種の実施を図るための人材育成等を行う。							
<b>事業概要 (5行程度以内。 別添可)</b>	自治体等において、予防接種に従事する医師、保健師等を対象に予防接種における専門家等や行政の担当者から最新の知識や情報を伝達することを目的とした研修を実施する。 補助率:10/10							
<b>実施方法</b>	補助							
<b>予算額・ 執行額 (単位:百万円)</b>		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度要求		
	予算 の 状 況	当初予算	3	3	3	3	3	
		補正予算	-	-	-	-	-	
		前年度から繰越し	-	-	-	-	-	
		翌年度へ繰越し	-	-	-	-	-	
		予備費等	-	-	-	-	-	
	計	3	3	3	3	3		
執行額	3	3	3					
執行率 (%)	100%	100%	100%					
<b>成果目標及び成 果実績 (アウトカム)</b>	定量的な成果目標	成果指標		単位	24年度	25年度	26年度	目標最終年度 - 年度
	予防接種従事者研修の参加者数	予防接種従事者研修の参加者数	成果実績	人	2,408	2,389	2,329	
			目標値	人	2,400	2,400	2,400	2,400
			達成度	%	100.3%	99.5%	97%	
<b>活動指標及び活 動実績 (アウトプット)</b>	活動指標		単位	24年度	25年度	26年度	27年度活動見込	
予防接種従事者研修の開催回数	活動実績	回	7	7	7			
	当初見込み	回	7	7	7	7		
<b>単位当たり コスト</b>	算出根拠		単位	24年度	25年度	26年度	27年度見込	
	単位当たりコスト = X / Y		単位当たり コスト	円/人	1,240	1,243	1,337	-
	X:「執行額」 Y:「予防接種従事者研修の参加者数」		計算式	円/人	2,986,000 / 2,408	2,969,000 / 2,389	3,114,000 / 2,329	-
<b>単位当たり コスト</b>	算出根拠		単位	24年度	25年度	26年度	27年度見込	
	単位当たりコスト = X / Y		単位当たり コスト	円/回	426,571	424,143	444,857	-
	X:「執行額」 Y:「予防接種従事者研修の開催回数」		計算式	円/回	2,986,000 / 7	2,969,000 / 7	3,114,000 / 7	-
平成27・28年度予算内訳 (単位:百万円)	費目	27年度当初予算	28年度要求	主な増減理由				
	衛生関係指導者養成等委託費	3	3					
	計	3	3					

事業所管部局による点検・改善					
項目		評価	評価に関する説明		
国費投入の必要性	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。		○	感染症の発生・まん延を防止するため、予防接種法に基づく予防接種を安全・適正に行うための研修事業であり、国民のニーズ、優先度ともに高い事業であるため、国費を投入しなければ事業目的が達成できない。	
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○	感染症の発生・まん延を防止するため、予防接種法に基づく予防接種を安全・適正に行うための研修事業であり、国の関与のもと、適確に実施すべき事業である。	
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。		○	感染症の発生・まん延を防止するため、予防接種法に基づく予防接種を安全・適正に行うための研修事業であり、国民のニーズ、優先度ともに高い事業である。	
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		-		
	受益者との負担関係は妥当であるか。		-		
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。		○	感染症の発生・まん延を防止するため、予防接種法に基づく予防接種を安全・適正に行うための研修事業を実施するための単位当たりコストの水準としては妥当である。	
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		-		
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		○	感染症の発生・まん延を防止するため、予防接種法に基づく予防接種を安全・適正に行うための研修事業を実施するための経費であり、真に必要な費目を対象経費としている。	
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		-		
事業の有効性	その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか		○	感染症の発生・まん延を防止するため、予防接種法に基づく予防接種を安全・適正に行うための研修事業であり、全国を7ブロックに統合して合理的に開催されており、効率的に実施されている。	
	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか		○	当初の見込みに見合った成果実績となっている。	
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		○	感染症の発生・まん延を防止するため、予防接種法に基づく予防接種を安全・適正に行うための研修事業であり、2千人超の予防接種従事者が受講する等、他の手段に比べて有効性の高い手段となっている。	
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		○	当初の見込みどおりの活動実績となっている。	
関連事業	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		-		
	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		-		
	所管府省・部局名	事業番号	事業名		
点検・改善結果	点検結果	予防接種法第23条第3項に基づき、市町村の予防接種従事者を対象に予防接種の健康被害の発生を防ぐための医学的・制度的な基礎知識及び最新知識の伝達等の研修を行っており、これまでも見込どおりに実施されている。引き続き、研修事業を円滑に実施するための予算額の確保が必要である。 平成25年度は、新たに定期予防接種の対象疾患が追加され、今後更に追加することが検討されており、予防接種に係る医学的・制度的な基礎知識及び最新の知識の伝達の重要性は益々高くなることが予想される。そのため、今後更に効率的な実施を図っていく必要がある。			
	改善の方向性	研修用教材の作成に係る費用について、さらに見直しを進め今後も適正な支出に努め、予防接種にかかる事故等を未然に防止し、有効かつ安全な予防接種の実施を図るための人材育成等を行う。			
<b>外部有識者の所見</b>					
点検対象外					
<b>行政事業レビュー推進チームの所見</b>					
現状通り	点検結果も妥当であり、予防接種にかかる事故等を未然に防止し、有効かつ安全な予防接種の実施を図るために必要な事業であることから、引き続き、必要な予算額を確保するとともに、適正な執行を図ること。				
<b>所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況</b>					
現状通り	—				
<b>備考</b>					
<b>関連する過去のレビューシートの事業番号</b>					
平成22年度	140	平成23年度	119	平成24年度	94
平成25年度	105	平成26年度	115		

※平成26年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

厚生労働省 3百万円

予防接種従事者研修事業の委託

【補助】

A. 公益財団法人予防接種リサーチセンター 3百万円

自治体等において、予防接種業務に携わっている医師、保健師等を対象として、予防接種における専門家等や行政の担当者から最新の知識や情報を伝達することを目的とした研修を実施する。

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)  
(単位: 百万円)

